

平成28年度

相模原市川尻財産区特別会計  
歳入歳出決算審査意見書

相模原市監査委員



平成29年8月10日

相模原市川尻財産区管理者

相模原市長 加山俊夫 殿

相模原市監査委員 彦根 啓

同 坪井 廣行

同 金子 豊貴男

同 石川 将誠

平成28年度相模原市川尻財産区特別会計歳入歳出決算の審査意見について  
(提出)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき、審査に付された平成28年度相模原市川尻財産区特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類を審査したので、次のとおり意見を提出する。

以上

# 平成28年度相模原市川尻財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

## 目 次

第1	審査の対象	3
第2	審査の期間	3
第3	審査の方法	3
第4	審査の結果	3
第5	審査の意見	3
第6	審査の内容	4
1	決算の概要	4
(1)	歳入	4
(2)	歳出	8
2	実質収支に関する調書	10
3	財産に関する調書	10

- (注) 1 文中に用いた金額及び面積は、単位未満は切り捨てた。  
また、表中に用いた金額のうち千円単位については、原則として単位未満は切り捨てた。このため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 比率は、原則小数点第2位を四捨五入した。このため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 文中に用いる「ポイント」とは、パーセント間の単純差引数値である。
- 4 各表中の符号の用法は次のとおりである。  
「0.0」…… 該当数値はあるが単位未満のもの  
「100.0」…… 単位未満を四捨五入したもの  
「△」…… 収支不足額を示し、又は増減では減を示すもの  
「ー」…… 算出不能、該当数値のないものなど

## 第1 審査の対象

- 1 平成28年度相模原市川尻財産区特別会計歳入歳出決算
- 2 上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

## 第2 審査の期間

平成29年7月4日から平成29年8月8日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、川尻財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、それぞれが関係法令に準拠して調製されているか、決算の計数に誤りはないか、予算は適正かつ効率的に執行されているかなどを主眼として、関係諸帳簿及び証拠書類との照合等通常実施すべき審査手続により実施した。

また、例月現金出納検査を参考にして審査を実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された川尻財産区特別会計の歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、同実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、いずれも法令に規定された様式により作成されており、記載金額等は歳入簿、歳出簿、証書類、財産台帳等と符合し、計数は正確であると認められた。

川尻財産区特別会計の決算内容及び予算執行状況等については、おおむね適正であると認められた。

決算の概要等については、審査の内容に記述するとおりである。

## 第5 審査の意見

相模原市基本構想では、基本目標の1つに「やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」を掲げているところである。

豊かな自然は、暮らしの中にやすらぎと潤いをもたらすものであり、財産区財産は、この一翼を担うものである。

こうしたことから、財産区においては公益的役割を踏まえつつ、財産区財政の健全な運営に引き続き努められるよう要望するものである。

## 第6 審査の内容

### 1 決算の概要

決算額は、歳入810万円、歳出602万円で、歳入歳出差引額は208万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はないので、実質収支額も同額である。

決算額を前年度と比較すると、歳入は18万円(2.2%)、歳出は53万円(8.1%)の減少である。

### 決 算 の 状 況

(単位：円、%)

区 分	28 年 度	27 年 度	増 減 額	増 減 率
予 算 現 額	9,500,000	11,725,000	△ 2,225,000	△ 19.0
歳 入 決 算 額 A	8,105,943	8,289,537	△ 183,594	△ 2.2
歳 出 決 算 額 B	6,023,204	6,554,028	△ 530,824	△ 8.1
形 式 収 支 額 (A-B) C	2,082,739	1,735,509	347,230	20.0
翌年度へ繰り越すべき財源 D	0	0	0	—
実 質 収 支 額 (C-D) E	2,082,739	1,735,509	347,230	20.0
前 年 度 実 質 収 支 額 F	1,735,509	733,385	1,002,124	136.6
単 年 度 収 支 額 (E-F)	347,230	1,002,124	△ 654,894	—

### (1) 歳 入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	9,500,000	8,105,943	8,105,943	0	0	85.3	100
27	11,725,000	8,289,537	8,289,537	0	0	70.7	100
増減	△ 2,225,000	△ 183,594	△ 183,594	0	0	14.6	0
増減率	△ 19.0	△ 2.2	△ 2.2	—	—	—	—

歳入における決算の状況は、予算現額950万円に対し、調定額810万円で、その全額が収入済となっている。

前年度と比較すると、予算現額では222万円(19.0%)、調定額及び収入済額は18万円(2.2%)の減少となっている。

財源別対前年度比較

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額		構 成 比 率	
	28年度	27年度	28年度	27年度
自 主 財 源	8,082	8,265	99.7	99.7
依 存 財 源	24	25	0.3	0.3
計	8,106	8,290	100	100

(注1) 本表は、地方財政状況調査の分類方法を準用した。

(注2) 単位未満は四捨五入している。

収入済額を財源別に分類し構成比率を比較すると、自主財源は99.7%で、依存財源が0.3%となっており、前年度と同率である。

第10款 県支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	521,000	24,000	24,000	0	0	4.6	100
27	521,000	25,000	25,000	0	0	4.8	100
増減	0	△ 1,000	△ 1,000	0	0	△ 0.2	0

収入済額2万円は自然保護奨励金で、前年度と比較すると1千円(4%)の減少である。

## 第15款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	7,562,000	6,309,854	6,309,854	0	0	83.4	100
27	7,730,000	7,506,944	7,506,944	0	0	97.1	100
増減	△ 168,000	△ 1,197,090	△ 1,197,090	0	0	△ 13.7	0

収入済額630万円を前年度と比較すると119万円(15.9%)の減少である。これは主として、生産物売払収入が121万円減少したことによるものである。

収入済額の主なもの

- ・ 土地貸付収入 470万円
- ・ 生産物売払収入 121万円

## 第20款 繰入金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	853,000	0	0	0	0	0	—
27	3,096,000	0	0	0	0	0	—
増減	△ 2,243,000	0	0	0	0	0	—



## 第25款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	563,000	1,735,509	1,735,509	0	0	308.3	100
27	377,000	733,385	733,385	0	0	194.5	100
増減	186,000	1,002,124	1,002,124	0	0	113.8	0

収入済額173万円は前年度剰余金で、前年度と比較すると100万円(136.6%)の増加である。

## 第30款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額(A)	調定額(B)	収入済額(C)	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						$\frac{(C)}{(A)}$	$\frac{(C)}{(B)}$
28	1,000	36,580	36,580	0	0	3,658	100
27	1,000	24,208	24,208	0	0	2,420.8	100
増減	0	12,372	12,372	0	0	1,237.2	0

収入済額3万円は雑入(本沢梅園一般開放協賛金)で、前年度と比較すると1万円(51.1%)の増加である。

## (2) 歳 出

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	9,500,000	6,023,204	0	3,476,796	63.4
27	11,725,000	6,554,028	0	5,170,972	55.9
増減	△ 2,225,000	△ 530,824	0	△ 1,694,176	7.5
増減率	△ 19.0	△ 8.1	—	△ 32.8	—

歳出における決算の状況は、予算現額950万円に対し、支出済額602万円で、執行率は63.4%となっている。これらを前年度と比較すると、予算現額は222万円(19.0%)、支出済額は53万円(8.1%)の減少であり、執行率は前年度と比較すると7.5ポイント上昇している。

不用額347万円は、予算現額の36.6%(前年度44.1%)である。

## 第5款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	650,000	597,500	0	52,500	91.9
27	1,122,000	1,025,245	0	96,755	91.4
増減	△ 472,000	△ 427,745	0	△ 44,255	0.5

支出済額59万円を前年度と比較すると42万円(41.7%)の減少である。これは主として、議会事務費が42万円減少したことによるものである。

支出済額の主なもの  
・議員報酬費 56万円

不用額  
・議会事務費 5万円

## 第10款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
28	8,388,000	5,425,704	0	2,962,296	64.7
27	10,040,000	5,528,783	0	4,511,217	55.1
増減	△ 1,652,000	△ 103,079	0	△ 1,548,921	9.6

支出済額542万円を前年度と比較すると10万円(1.9%)の減少である。これは主として、財産管理費が40万円増加した反面、川尻財産区運営基金積立金が23万円、本沢梅園管理費が15万円及び川尻財産区議会議員通常選挙費が9万円減少したことによるものである。

支出済額の主なもの

- ・本沢梅園管理費 268万円
- ・財産管理費 113万円
- ・造林振興事業費 105万円

不用額の主なもの

- ・本沢梅園管理費 178万円

## 第25款 予備費

(単位：円)

区分 年度	予 算 額	充 当 額	予 算 現 額	不 用 額
28	462,000	0	462,000	462,000
27	563,000	0	563,000	563,000
増減	△ 101,000	0	△ 101,000	△ 101,000

## 2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書に記載されている川尻財産区特別会計の計数は、次のとおりである。

### 実 質 収 支 額

(単位：千円)

会計区分	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額
		継続費 繰越額	明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	
川尻財産区特別会計	2,083	0	0	0	2,083

## 3 財産に関する調書

公有財産及び基金の異動状況は、次のとおりである。

### 財 産 の 状 況

区 分		単位	前年度末現在高	本年度中増減高	本年度末現在高
公有財産	土地	m <sup>2</sup>	766,496.68	0	766,496.68
	建物	m <sup>2</sup>	52.00	0	52.00
	出資による権利	円	420,000	0	420,000
基金	資基金積立金 川尻財産区運営基金	円	273,478,327	393,266	273,871,593

(土地のうち山林の内訳)

区 分	面 積 (m <sup>2</sup> )			立木の推定蓄積量 (m <sup>3</sup> )		
	前年度末 現在高	本年度中 増減高	本年度末 現在高	前年度末 現在高	本年度中 増減高	本年度末 現在高
山 林	766,241.77	0	766,241.77	6,605.64	△ 66.53	6,539.11

### (1) 公有財産

#### ア 土地

土地及び建物の年度末現在高は766,496m<sup>2</sup>及び52m<sup>2</sup>で、前年度と同じである。

#### イ 出資による権利

出資による権利の年度末現在高は42万円で、前年度と同じである。

### (2) 基金

基金の年度末現在高は2億7,387万円で、前年度と比較すると39万円増加している。